

平成 29 年度
行政評価結果

【第 3 卷 事前評価】

評価からはじめるまちづくり

平成 30 年 3 月

盛岡市

事務事業事前評価

来年度以降、新しく実施及び拡充を予定している事業について、事前評価を実施しました。

この評価は、新規・拡充事業について目的妥当性や有効性などの観点から事業内容を評価して事業の必要度を判断することで、厳しい財政状況の中で効率的な市政運営を行うために実施するものです。

本年度の評価は、総合計画実施計画の計画期間である平成30年度に実施を予定している90事業について実施しました。

評価の結果、53事業について実施に向けて予算化又は取組の推進を図ることとし、37事業について現時点での実施を見送ることとしました。

評価結果の一覧表は、次ページ以降のとおりです。

事務事業事前評価実施数		90
結 果	実施する事業数（一部実施を含む）	53
	実施を見送る事業数	37

事務事業事前評価一覧

1 まちづくりの取組

No.	施策名	事業名	事業概要	新市建設計画	戦略プロジェクト	事業年度	H30当初予算額(案) (事業費ベース) (単位 千円)	事業実施の可否	備考
1	1 地域福祉の推進	地域トータルケアシステム構築事業(地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業)【拡充】	・多機関の協働による包括的支援体制構築事業 地域福祉コーディネーターを増員する。 ・地域力強化推進事業 モデル地区において、地域課題を解決する仕組みを検証した上で、市内全域に広げる手段等について研究委託を行う。			30 ~ *	34,885	一部実施	【実施】 総合福祉センターの事務室改造 【見送り】 地域福祉コーディネーターの増員 (地域福祉コーディネーターの増員については、窓口や相談体制などの重複する業務の整理が必要と考えられるため。)
2	2 子ども・子育て、若者への支援	保育士確保対策事業(宿舍借上げ事業等)【拡充】	保育士確保や保育士の負担軽減を行うことにより将来的な保育士のなり手を増やすことにより、待機児童等の解消を行う。			30 ~ *	—	見送り	事業効果を十分検証するとともに、制度設計の再構築が必要と考えられるため。
3	2 子ども・子育て、若者への支援	待機児童解消対策事業(定員弾力化補助金)【拡充】	定員の弾力化を行った園に対して補助を行う。		○	30 ~ *	12,800	実施	
4	2 子ども・子育て、若者への支援	私立児童福祉施設整備助成事業(幼保連携型認定こども園の増築)	飯岡保育園の増築に係る補助を行う。		○	30	190,791	実施	
5	2 子ども・子育て、若者への支援	私立児童福祉施設整備助成事業(私立保育所の増改築)	天昌寺保育園の増改築に係る補助を行う。		○	30	179,162	実施	
6	2 子ども・子育て、若者への支援	私立児童福祉施設整備助成事業(私立保育所の増改築)	柳青保育園の増改築に係る補助を行う。		○	30	107,198	実施	
7	2 子ども・子育て、若者への支援	私立児童福祉施設整備助成事業(小規模保育事業所の新設)	十人十色小規模保育事業所の新築に係る補助を行う。		○	30	48,975	実施	

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
8	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	私立児童福祉施設整備助成事業（認定こども園の大規模修繕）	旧なでしこ幼稚園部分の園舎の大規模修繕に係る補助を行う。		○	30	97,665	実施	
9	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	私立児童福祉施設整備助成事業（私立保育所の大規模修繕）	久昌寺保育園の大規模修繕に係る補助を行う。			30	—	見送り	限られた財源の中で、他の事業を優先的に実施することとしたため。
10	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	地域児童クラブ等運営事業（利用児童が増加する地域への対応）	新設等を希望しているクラブに対する建設費用の補助を行う。			30	—	見送り	限られた財源の中で、他の事業を優先的に実施することとしたため。
11	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	地域児童クラブ等運営事業（保育料の軽減）	低所得世帯に対する放課後児童クラブ利用料の軽減に係る補助を行う。			30～*	—	見送り	平成29年度策定予定の「（仮称）子どもの貧困対策アクションプラン」の内容を踏まえた上で、事業実施の検討を行うこととしたため。
12	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	病児・病後児保育事業整備助成事業（森田小児科）	医療法人ハレルヤ会森田小児科医院が既存建物を改修し、新たに病児保育施設を開設するにあたり、国の補助メニューを活用し、普及定着促進費として委託料を支出する。また、病児病後児保育事業を委託するため運営費として委託料を支出する。		○	30～*	11,811	実施	
13	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業	新たな住宅セーフティネット制度の施行に伴い、住宅確保要配慮者向け住宅の登録事業が開始されたが、子育て世帯向け住宅を早期に確保し定住促進を図るため、既存住宅等を改修し子育て世帯専用の賃貸住宅とする民間事業者等に対して、改修費の一部を補助する。		○	30～34	3,000	実施	
14	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	地域子育て支援センター事業【拡充】	盛岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、盛南地区に地域子育て支援拠点（つどいの広場又は地域子育て支援センター）を整備する。	○		30～*	—	見送り	引き続き設置場所、実施手法の検討が必要と考えられるため。
15	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	中学生医療費給付事業【拡充】	医療費助成事業を中学生まで対象を拡大する。		○	30～*	79,885	実施	

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額(案) (事業費ベース) (単位 千円)	事業実施 の可否	備考
16	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	乳幼児医療費給付事業 【拡充】	未就学児童の自己負担額(入院2,500円、通院750円)を 廃止し、医療費の窓口負担分を無料化する。			30 ~ *	—	見送り	限られた財源の中で、他の事業を優先的に実施す ることとしたため。
17	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	ひとり親等のテレワーク人材 育成事業	ひとり親等を対象にテレワーク人材を育成することによ り、ひとり親等のスキルアップと所得向上を図る。			30 ~ *	—	見送り	ひとり親世帯の母親が取得を希望する資格を分 析・把握した上で、ニーズに応じた事業の再構築 を図る必要があると考えられるため。
18	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	子ども食堂ネットワーク化推 進事業	子ども食堂を開設している団体及び開設を検討している 団体等を対象とした情報交換を目的としたネットワー ク組織の運営、子ども食堂の運営に必要な知識の習得を 目的とした研修会及び市民フォーラムの開催を業務委託 により実施する。			30 ~ *	—	見送り	事業効果を十分検証するとともに、民間事業者の 動向を踏まえながら、引き続き事業実施の検討を 図る必要があると考えられるため。
19	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	子ども食堂実施可能性調査事 業	地域レベルでの子ども食堂等の開設について、アンケー ト及びヒアリング調査を実施し、開設の意向をもつ団体 や開設に当たっての課題等を把握する。			30	—	見送り	事業効果を十分検証するとともに、民間事業者の 動向を踏まえながら、引き続き事業実施の検討を 図る必要があると考えられるため。
20	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	不妊に悩む方への特定治療助 成支援事業の上乗せ事業	不妊治療の経済的な負担を軽減するため、医療保険が適 用されない特定不妊治療及び男性不妊治療を受けた夫婦 に対し、1回の治療につき5万円を限度として上乗せ助 成を行う。			30 ~ *	—	見送り	限られた財源の中で、他の事業を優先的に実施す ることとしたため。
21	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	産後ケア事業	産後、家族等から十分な家事及び育児など援助が受けら れない褥婦及び産婦等であって、心身の不調又は育児不 安等がある者及び特に支援が必要と認められる者に対 し、助産師等の家庭訪問により、サービスの提供を行 い、心身のケアや育児のサポート等を実施する。		○	30 ~ *	759	実 施	
22	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	産婦健康診査事業	産後うつや新生児への虐待予防を図るため、概ね産後2 週間と1か月の出産後間もない産婦に対する健康診査の 費用(1回5,000円で一人2回以内)を助成し、医療機 関からの連絡により、育児支援の必要な産婦を把握して 早期の支援を開始する。		○	30 ~ *	12,279	実 施	
23	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	子ども家庭総合支援センター 事業	社会福祉士、臨床心理士などを配置し、子ども家庭支援 全般に係る相談等へ対応するとともに、学校、社会資 源、地域とのつなぎの役目を担う支援拠点を設置する。		○	30 ~ *	13,126	実 施	

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェクト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
24	2 子ども・ 子育て、 若者への 支援	青少年の社会参加促進・意見 表明機会創出事業	若者が、まちづくり、起業、文化活動等の最前線で活躍するキーパーソンと対話することや、自らの意見を表明すること等を通じて、市政課題を知り、自己の形成と社会参加意欲を高める場を提供する。			30～32	—	見送り	事業効果の検証や、事業実施後の展開や市の関わり等について整理し、事業の再構築を図る必要があると考えられるため。
25	3 高齢者福 祉の充実	介護従事者確保事業【拡充】	介護人材確保の一環として、市内の小中学生などを対象に介護施設等の仕事に触れてもらうことで、介護職への関心をもってもらい、将来の介護の担い手確保につなげていく。			30～*	1,211	実施	
26	3 高齢者福 祉の充実	任意事業（成年後見センター 設置事業）	成年後見に関する相談から利用までの一貫した支援を行うため、成年後見センターを設置し、以下の事業を行う。 ①成年後見に係る相談・申立手続支援 ②成年後見人受任者調整・支援 ③成年後見制度の普及・啓発			30～*	—	見送り	盛岡広域市町での共同設置について検討する必要があると考えられるため。
27	4 健康づく り・医療 の充実	成人健康診査事業（胃がん個別 検診分）【拡充】	平成28年度から胃がん個別検診に導入の内視鏡検診の委託料について、混乱を避けるための暫定的な対応として、X線検診（バリウム検査）と同額として実施してきたが、導入後3年目に入り、診療報酬の改定に合わせ委託料を改定する。	○		30～*	96,624	実施	
28	4 健康づく り・医療 の充実	成人歯科健康診査事業 【拡充】	平成29年度から委託料の単価を増額した妊産婦歯科健康診査と同様に、成人歯科健康診査についても増額する。			30～*	—	見送り	単価改定に留まらず、検査対象を整理する必要があると考えられるため。
29	4 健康づく り・医療 の充実	骨粗鬆症予防検診事業 【拡充】	集団検診から、市医師会等への委託による個別健診にする。 また、これまで30歳から70歳までの市民としていた対象者についても、国の健康増進事業（2/3補助）の補助対象となる、40歳から70歳までの5歳刻みの女性にする。	○		30～*	—	見送り	受診者数が減少している原因について、さらなる検証を行った上で、事業の再構築を図る必要があると考えられるため。
30	4 健康づく り・医療 の充実	もりおか健康得とくポイント 事業	市民への健康に対する意識を高めるためのインセンティブ事業として、健康教室事業等へ参加した市民に対し、MORIO-Jカードにポイントを付与し、健康づくり事業への参加促進を図る。			30～*	73	実施	
31	4 健康づく り・医療 の充実	中学生におけるピロリ菌検査 事業	胃がんの原因とされるピロリ菌を早期に除菌することが胃がんの罹患率を下げるために有効であることから、教育委員会と協働で中学生におけるピロリ菌の尿中抗体検査を導入する。			30～*	—	見送り	限られた財源の中で、他の事業を優先的に実施することとしたため。

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
32	4 健康づくり・医療 の充実	エイズ・性感染症予防普及啓 発事業【拡充】	①定例実施検査に、梅毒検査と性器クラミジア検査を追加。（現在実施項目：HIV抗体検査、B型・C型肝炎ウイルス検査） ②性感染症の正しい知識の普及啓発。（医師の講演会、症状・感染経路・予防方法、検査に係る情報提供、受診時期について等周知）			30～*	4,013	一部実施	【実施】 梅毒・性器クラミジア検査の実施 【見送り】 性感染症の正しい予防知識の普及啓発のための、医師による講演会及び普及啓発資材購入等（事業実施の必要性を勘案し、検査経費を優先した。啓発事業については、費用対効果を十分検証する必要があると考えられるため。）
33	5 障がい者 福祉の充 実	障がい者相談支援事業 【拡充】	障がい児の一般相談を社会福祉法人等に委託し、新たに常勤職員2名を配置する。			30～*	—	見送り	移転による影響を十分検証するとともに、既存の相談窓口での対応を含め、事業効果と課題の整理を行う必要があると考えられるため。
34	5 障がい者 福祉の充 実	障がい者福祉施設整備助成事 業	社会福祉法人等が行う施設整備（新設、改修等）に対し助成を行う。			30	52,375	一部実施	【実施】 GHスプリンクラー整備、就労継続支援B型増築整備 【見送り】 児童発達支援改築ほか （限られた財源の中で、上記実施分を優先的に実施することとしたため。）
35	8 安全・安 心な暮ら しの確保	IT活用推進事業	防災拠点となる庁舎及び避難所となる公民館に耐災害性の高い通信手段としてWi-Fi環境を整備し、併せてインターネット接続端末を持たない市民等が利用できるタブレットPCを配備する。			30～*	1,461	一部実施	【実施】 本庁舎におけるWi-Fi環境の整備 【見送り】 庁舎（都南・玉山）及び公民館におけるWi-Fi環境の整備、タブレットPCの配備 （市の整備方針を明確化したうえで、整備を進めていく必要がある。ただし、防災拠点施設として、本庁舎のみ平成30年度に導入することとする。）
36	8 安全・安 心な暮ら しの確保	防災施設整備事業 防災ラジ オ普及事業【拡充】	防災ラジオを一般市民に普及させるため、避難行動要支援者及び地域支援者等に対し、購入費の一部を助成する。			31～35	—	見送り	市民ニーズ等を踏まえた補助対象の絞り込みを行った上で、事業構築を図ることとしたため。
37	8 安全・安 心な暮ら しの確保	無人航空機（ドローン）整備 事業	災害が発生又はおそれがある場合に、ドローンを活用して現場の状況等を把握することにより、災害対策本部の意思決定の迅速化を図り、救助、復旧等を円滑に行う。災害のほか、施設管理や広報、イベント等でも使用できるよう体制を整える。			30～*	626	実施	
38	8 安全・安 心な暮ら しの確保	新Jアラートシステムの導入	市のJアラート機器は、平成22年に整備され、老朽化が進んでいることから、国の指導に基づき、新型機に更新する。更新に併せ、主要な庁舎の屋上スピーカーから、Jアラートが取得した国民保護情報等の緊急情報を自動で放送できるよう整備する。			30	3,900	一部実施	【実施】 Jアラートの更新。 【見送り】 スピーカーの改修。 （限られた財源の中で、上記実施分を優先的に実施することとしたため。）

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェクト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
39	9 地域コ ミュニ ティの維 持・活 性化	地縁団体等の中間支援を行う NPO委託事業	地縁団体等の市民活動団体に対しNPOが中間支援を行 う仕組みを確立し、業務を委託する。			30 ~ *	—	見送り	事業の制度設計を精査する必要があると考えられ るため。
40	9 地域コ ミュニ ティの維 持・活 性化	街灯設置費補助金【拡充】	・町内会・自治会等が街灯設置費補助金に係る自立柱の 交換と修繕の補助率と上限額を上げる。また、自立柱の 撤去を補助対象に追加する。 ・実施期間を3年間とし、160本の自立柱を交換・修繕 又は撤去する。			30 ~ 32	8,358	一部実施	【実施】 補助区分への自立柱撤去の追加 【見送り】 交換・修繕に係る補助率、補助上限額の増 (限られた財源の中で、上記実施分を優先的に実 施することとしたため。)
41	9 地域コ ミュニ ティの維 持・活 性化	空き家を活用した自治公民館 賃貸借料補助事業	現在市内において空き家が増加しており、その活用方法 が課題となっていることや自治公民館の賃貸借につい て、要望が多いことから、空き家の活用に係る補助を行 う。			30 ~ *	300	実施	
42	10 生活環境 の保全	旧清掃工場施設解体事業 【拡充】	平成10年3月に廃止した旧三ツ割清掃工場及び旧門清掃 工場の解体に向けて、ダイオキシン類の環境モニタリン グ調査、土地の形質変更の届出に必要な地歴調査、及び 解体計画書作成に係る業務委託を実施する。解体は、平 成31年度以降の実施を予定する。			30 ~ 31	13,463	実施	
43	10 生活環境 の保全	し尿収集運搬事業補助金	平成30年4月1日から都南地域のし尿の処理体制を盛岡 地域の体制に統一し、処理料金を段階的に引き上げるこ とに伴い、両地域のし尿等収集運搬業者間の収入格差を 補てんするため、平成30・31年度において都南地域の2 業者に対し、収入補てん補助を行う。			30 ~ 31	15,622	実施	
44	10 生活環境 の保全	東部山間地域し尿収集運搬事 業補助金【拡充】	東部山間地域における地理的事情に起因するし尿等の収 集運搬効率を考慮し、当該地域におけるし尿等の収集運 搬に対する補助を行う。盛岡地域の対象地域（根田茂、 砂子沢、川目の一部等）に加え、平成30年度からは都南 地域（大ケ生）においても実施する。			30 ~ 31	789	実施	
45	10 生活環境 の保全	墓園管理運営事業（庁内ネッ トワーク端末の新庄墓園管理 事務所への設置）	庁内ネットワーク端末を新庄墓園管理事務所へ設置す る。			30 ~ 31	—	見送り	事業効果を検証する必要があると考えられるた め。
46	11 歴史・文 化の継承	南部家墓所調査事業	文化庁が、全国の大名墓の史跡指定を推進していること を踏まえ、明治150年（戊辰150年）記念事業として、聖 寿寺及び東禅寺に所在する南部家墓所の調査を行い、国 の史跡指定を目指す。			30 ~ 33	—	見送り	事業効果を検証する必要があると考えられるた め。 また、限られた財源の中で、他の事業を優先的に 実施することとしたため。

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額(案) (事業費ベース) (単位 千円)	事業実施 の可否	備考
47	13 スポーツ の推進	盛岡市アイスリンク整備事業	間仕切り壁及び除湿機器設置，観客席の増設を行う。			30～31	—	見送り	限られた財源の中で，他の事業を優先的に実施することとしたため。
48	13 スポーツ の推進	つなぎ多目的運動場井戸整備事業(体育施設修繕事業)	つなぎ多目的運動場の飲料用水を安定的に供給するため，新たに井戸(ろ過装置含む)を整備する。			30	—	見送り	平成30年度中に県と意見調整することとなったため。
49	13 スポーツ の推進	総合アリーナ改修事業【拡充】	施設の高規格化を図り，機能向上による施設の付加価値を高め，利用率拡大につながる照明のLED化及び大型映像装置(既存アイスホッケー得点表示盤の更新)を導入する。			30～31	1,950	一部実施	【実施】 照明のLED化改修工事 【見送り】 大型映像装置導入 (初期投資を回収する手法を検討する必要があると考えられるため。また，限られた財源の中で，上記実施分を優先的に実施することとしたため。)
50	13 スポーツ の推進	総合プール整備事業(ホストタウン交流事業関連等)【拡充】	事前キャンプ受入に必要な水球用具のほか競技規則に対応する競泳用スターティングブロックを購入する。			30～31	1,570	一部実施	【実施】 水球用具の購入 【見送り】 スターティングブロック等の購入 (限られた財源の中で，上記実施分を優先的に実施することとしたため。)
51	13 スポーツ の推進	盛岡南公園球技場改修事業【拡充】	J3スタジアム要件を満たすために必要な夜間照明(照度1,500ルクス以上)設備を整備する。			30～32	—	見送り	費用対効果を検証する必要があると考えられるため。また，限られた財源の中で，他の事業を優先的に実施することとしたため。
52	13 スポーツ の推進	盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業(ホストタウン交流事業関連)【拡充】	事前キャンプ受入(HT交流事業)やRWC2019公認チームキャンプ地対応を行う。		○	30～*	24,475	実施	
53	14 「盛岡ブランド」 の展開	盛岡地区かわまちづくり事業【拡充】	川を活用した新たな観光資源や水辺の賑わい創出に向け，国・市・市民・民間事業者が一体となった取組を推進するため，北上川における舟運可能性調査を行い，舟運事業の実現を目指し，舟の製作及び舟運発着地点である木伏緑地へのトイレ整備を実施する。		○	30～32	3,782	実施	
54	14 「盛岡ブランド」 の展開 ほか	地域おこし協力隊活動支援事業【拡充】	地域おこし協力隊の着任後の活動について，他都市への視察や外部団体による研修を実施し，隊員全体のスキルを効果的に上げる。			30～33	2,000	実施	

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
55	14 「盛岡ブ ランド」 の展開	市民発信型シティプロモーション推進事業	人が集う場所に、盛岡を象徴するような洗練された広告塔を設置することにより、人の還流を促進し、また、その情景を市民や観光客によるSNSの発信等を促すことで、デザイン性の高い「盛岡」のイメージを市内外の若者世代に浸透させる。			30～31	—	見送り	事業効果を十分検証し、財源の確保に努める必要があると考えられるため。
56	14 「盛岡ブ ランド」 の展開	移住・定住・交流人口対策事業	「仕事」と「暮らし」の一体的な相談支援体制の充実や、首都圏等での盛岡コミュニティへの支援等を行うことで、若者のUIターンを促進する。また、若者の発信力の向上や、若者の愛郷心の醸成に関する調査を実施し、長期的な視点で若者の地元定着を促進する。		○	30～34	24,725	一部実施	【実施】 ・首都圏の若者を対象としたプロモーション ・移住・定住等に関するイベント開催と相談ブース出展 ・移住体験ツアーや首都圏等における盛岡ファン・コミュニティ支援 ・市民発信型のシティプロモーションの実施と若者の愛郷心の醸成に関する調査 ・官民連携による交流拠点整備に係る事前調査等 【見送り】 ・交流拠点開設準備補助金、交流拠点開設補助金（交流拠点開設については、30年度実施予定の調査結果を踏まえ、実施の可否を判断するため。）
57	15 良好な景 観の形成	紺屋町番屋改修事業	紺屋町番屋の景観上、歴史的文化上の価値を踏まえ、将来に渡り良好な状態で保存するとともに、紺屋町かいわいの景観や歴史、文化を生かしたまちづくりに寄与することを目的として、大規模な改修を行う。			30～32	—	見送り	利活用方針について、地域住民や民間事業者との協議やニーズ把握も踏まえ、更なる検討を行う必要があると考えられるため。
58	17 子どもの 教育の充 実	仙北中学校第二屋内運動場等整備事業	盛岡南地区都市開発整備事業による、生徒数の増加に対応するため、第二屋内運動場や屋外運動場等の整備を行い、良好な学習環境の場を確保する。			30～32	33,734	実施	
59	17 子どもの 教育の充 実	LED照明導入事業	小中学校の良好な学習環境の場の確保のため、LED照明の整備を行う。			30～*	—	見送り	限られた財源の中で、他の事業を優先的に実施することとしたため。
60	18 生涯学習 の推進	図書ネットワーク事業【拡充】	地区活動センター、公民館図書室に図書館システムを導入することにより、市の所蔵している本を最寄の施設から市民が借りることができるようにし、市民サービスの向上を図る。			30～*	—	見送り	大規模改修の時期を踏まえた事業実施時期の検討を行う必要があると考えられるため。
61	19 社会を担 う人材の 育成・支 援	高校生等地元就職フォローアップ事業	高校生が早い時期から「地元で働くこと」に対する理解や就業意識を高め、自分の進路を選択できるようにするため、就職活動や進路選択に役立つ情報や、地元企業で働く若者の姿を業種別に紹介する「（仮）高校生就職応援マガジン」を作成・配布するとともに、SNS等を活用し情報発信する。			30～*	5,517	実施	

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
62	21 農林業の 振興 ほか	地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊を活用し、地域コミュニティの維持及び活性化を図ろうとするもので、既に隊員が活動している担当課において、以下のテーマに取り組む新たな協力隊員を募集する。 ・移住・定住の促進 ・天狗の里・築川地域における山里暮らしのモデル構築 ・極寒天国（しばれすとパラダイス）・藪川地域をもっと稼げる地域に！		○	30～33	19,881	実施	
63	21 農林業の 振興	農業まつり開催事業【拡充】	盛岡市農業まつりの宣伝等の強化を行い、集客数の増加を図る。			30～*	—	見送り	「食と農のバリューアップ推進事業」との連携や農業まつりにおける出展者数の増加対策の検討等を含めた事業の再構築が必要と考えられるため。
64	21 農林業の 振興	需要に応じた米生産推進事業費補助金【拡充】	米の生産調整（減反）において、平成30年産以降生産数量目標が示されなくなることに伴い、需要に応じた米生産を推進するため、転作物誘導事業の助成単価を増額する。			30～34	—	見送り	補助単価の見直しにとどまらず、制度設計の再構築が必要と考えられるため。
65	21 農林業の 振興	いわてワインヒルズ推進協議会負担金	いわてワインヒルズ推進協議会の事業実施や運営に係る負担金を支出する。			30～31	—	見送り	限られた財源の中で、事業実施の必要性等を十分に検証する必要があると考えられるため。
66	21 農林業の 振興	食と農のバリューアップ推進事業 （6次産業化等スタートアップ支援事業補助金）【拡充】	市内の農業者等が、盛岡産農畜産物を用いた6次産業化又は農商工連携により、農畜産物の高付加価値化や販路拡大を行う場合に要する経費の一部を補助する。		○	30～*	27,566	実施	
67	21 農林業の 振興	森林・林業再生プロジェクト推進事業	森林・林業の再生を具現化するため、地域の現状を踏まえながら、本市における「森林・林業再生」のための実行計画の策定及び各種事業を実施する。			30～32	—	見送り	森林・林業の再生に向けて、市産材利用の推進体制の構築など、総合的な事業の再構築が必要と考えられるため。
68	21 農林業の 振興	排水対策特別事業（船田堰地区）	船田堰（L=4.6km）の整備を行う。	○		30～36	2,667	実施	
69	21 農林業の 振興	森林適正管理推進事業【拡充】	森林資源の循環のため、再造林率を上昇させることが課題となっているため、再造林への補助率を上げる。	○		30～*	—	見送り	補助率の見直しにとどまらず、森林資源の循環に向けて、市産材利用の推進体制の構築など、総合的な事業の再構築が必要と考えられるため。

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
70	21 農林業の 振興	市営牧野草地等改善対策事業	市営牧場の機能向上・経営改善を目的に、牧草の質・量の向上、安全対策などを実施する。			30～*	3,447	実施	
71	21 農林業の 振興	尻志田地区農業用排水路整備事業	尻志田地区の農業用排水路を整備することにより、水路断面崩壊危険箇所の解消を図る。			30～36	2,768	実施	
72	22 商業・ サービス 業の振興	商店街等魅力強化支援事業 【拡充】	商店街や業界団体の活性化を図るため、商店街や業界団体等の魅力強化のための研修会等に、専門知識を有する講師を選定し、派遣する。			30～*	294	実施	
73	22 商業・ サービス 業の振興	中小企業人材育成支援事業	中小企業の経営力の強化を図るため、中小企業の役員・社員が、中小企業大学校及び東北大学地域イノベーションプロデューサー塾が実施する研修を受講する際の受講料の一部を補助する。			30～*	190	実施	
74	23 工業の振 興 ほか	地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊を活用し、地域コミュニティの維持及び活性化を図ろうとするもので、以下のテーマに取り組む新たな協力隊員を募集する。 ・「スポーツ」による盛岡広域圏の魅力発信と賑わい創出 ・「盛岡手づくり村」と「つなぎ温泉」等との連携による繋地域の魅力創出		○	30～33	7,927	実施	
75	23 工業の振 興	工業振興事業（製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金）【拡充】	中小企業者が市場の開拓や販路の拡大を目的として、国内や国外の展示会や見本市に出展する事業に要する経費の一部を補助する。		○	30～*	800	実施	
76	23 工業の振 興	盛岡テクノミュージアム設置事業	学生等を対象に企業情報を入手できる機会を増やすとともに、雇用の確保、地元定着を図るため、市内の工場等を盛岡テクノミュージアムとして指定し、工場見学の受入体制整備や企業紹介スペースの設置に係る費用の一部を助成する。		○	30～*	1,000	実施	
77	23 工業の振 興	ものづくり人材育成事業	盛岡広域のものづくり人材を育成し、地元定着を促進するため、圏域の企業や教育関係機関、商工団体、行政が参画する組織を設置し、学生を対象にものづくりをテーマとする出前講座や工場見学、セミナーを開催する。		○	30～*	390	実施	

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェクト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
78	23 工業の振 興	盛岡広域地場産品普及啓発事業	盛岡広域の地場産業の振興を図るため、盛岡広域市町が連携し、盛岡手づくり村（（財）盛岡地域地場産業振興センター）を活用し、首都圏に盛岡広域特有の商品を出展するとともに、工芸品事業者のネットワーク化を図り、新たな市場の開拓や広域圏への誘客を目指す。			30～*	—	見送り	既存事業の「ものづくり産業魅力向上事業」を、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」の事業として位置付け実施予定。
79	23 工業の振 興	盛岡広域新地場産品開発普及魅力発信事業	盛岡広域圏の地場産業の振興を図るため、盛岡広域が連携し、盛岡手づくり村（（財）盛岡地域地場産業振興センター）を活用し、盛岡広域圏の豊富な資源・技術を活用した新たな商品開発、商品改良を行う。			30～*	—	見送り	盛岡広域市町との調整を進めた上で、事業構築を図る必要があると考えられるため。
80	23 工業の振 興	盛岡特産品ブランド振興事業【拡充】	盛岡地域の特色豊かな工芸品や食品、農産物等を広く全国にアピールするため、新たに盛岡ブランド品認定制度を定め、特産品の付加価値を高め、販売促進・販路拡大を図る。	○	○	30～*	194	実施	
81	23 工業の振 興	工業振興事業（盛岡工業団地に隣接する工場用地整備）【拡充】	工業用地整備による渋民野球場の廃止に伴う代替地（交流広場）の整備を行う。			30～31	10,164	実施	
82	24 観光の振 興	岩手もりおか復興フェスタ開催事業	「岩手もりおか復興フェスタ」等において、花車を活用した観光PRを行う。		○	30～*	3,190	実施	
83	24 観光の振 興	盛岡デーン等観光PR事業（盛岡の観光と物産展開催事業）【拡充】	平成29年度まで3か年実施した「誘客重点市場・物産販路開拓調査」の結果を踏まえ、新規開催地において観光と物産展を開催する。			30～*	—	見送り	既存の物産展開催による地場産品の販路開拓及び観光客誘致への寄与度を検証した上で、事業実施の検討を行う必要があると考えられるため。
84	26 都市基盤 施設の維 持・強化	耐震対策緊急促進事業（耐震改修）【拡充】	不特定多数の者が利用する大規模建築物への耐震補強設計・耐震改修工事に対する費用を助成する。			30～31	48,765	実施	
85	26 都市基盤 施設の維 持・強化	飲用水確保対策事業	盛岡市水道事業給水区域の区域外に居住し、現に飲用水の確保に困窮している世帯に対して、飲用井戸等整備に係る費用を補助する。（8割補助，上限240万円）			30～*	19,000	実施	

No.	施策名	事業名	事業概要	新市 建設 計画	戦略 プロ ジェク ト	事業年度	H30当初予算額（案） （事業費ベース） （単位 千円）	事業実施 の可否	備考
86	28 国際化の 推進	ホストタウン機運醸成事業 （ホストタウン交流事業関 連）	2020東京オリンピック・パラリンピックにおいて、カナダのホストタウンである盛岡で、市民を対象にホストタウン事業やカナダへの理解を深めていただくため、周知啓発イベント等を実施し、機運醸成を図る。		○	30～31	1,260	実施	

2 自治体経営の取組

No.	自治体経営に基づく方針名	事業名	事業概要	新市建設計画	戦略プロジェクト	事業年度	H30当初予算額(案) (事業費ベース) (単位 千円)	事業実施の可否	備考
1	101 市民参画や協働によるまちづくり	市政広報活動事業【拡充】	広報もりおかの紙面を刷新する。			30 ~ *	43,036	実施	
2	102 経営資源配分の最適化	電子入札等基盤整備事業	物品の買入れ等に係る電子入札の導入及び盛岡広域8市町が共同で入札参加資格申請の共通化・電子化の体制整備を行う。			30 ~ *	1,417	実施	
3	102 経営資源配分の最適化	マイナンバーカード普及事業	マイナンバーカードを新規取得した者にMORIO-Jポイントを発行することにより、証明書コンビニ交付及びマイナンバー制度の基盤となる、マイナンバーカードの普及促進を図る。			30 ~ 31	—	見送り	事業効果を検証し、他の手法による啓発方法などを検討する必要があると考えられるため。
4	102 経営資源配分の最適化	都南総合支所窓口案内モニター設置	窓口サービスの向上を図るため、「番号案内表示モニター」を設置する。			30 ~ *	—	見送り	費用対効果を検証するとともに、代替手段についても検討する必要があると考えられるため。